第三章

研究方法

A. 研究方法

本研究の方法はディスクリティプクアリタティップ法である。研究されたデータから記入データが得られる。Bogdan＆Taylor はディスクリティプ法は観察できる態度及び人々からの口頭または書きことばのディスクリティプデータを提出研究法であると述べている　(1975:5)。

本研究の手順は次のようなものである。

１．研究する課題を選び、設定する。

２．参考文献、観察、及び専門家と相談を通して、先行調査をする。

３．先行調査上の課題を設定する。

４．データの収集、データの分析、データの提出に使うメソッド及び技術と関係のアプローチを選択。

５．課題の要点の分析としての参考文献を設定。

６．データカードの研究道具を構成する。

７．データの収集

８．データの分析

９．結論を提出。

B. データの収集の技法

１） データの種類

本研究のデータの種類は『薔薇のない花屋・第 1 話～第 11 話』のドラマ、『女たちのジハード』の小説、『ふたりはぷりキュ』の漫画における女性の登場人物が使用する文である。

ドラマ・小説・漫画に使用される言語データは女性が現在のコミュニケーションに使われている近代日本語である。

２） 調査のデータ

データとして、ほぼ話し言葉のみで構成されているドラマ、小説、マンガを取り扱う。参考にするのは「薔薇のない花屋・第 1 話～第 11 話」のドラマ、「女たちのジハード」の小説、「ふたりはぷりキュ」の漫画の三つである。

1. **『薔薇のない花屋』**とは、野島伸司に書かれたドラマである。2008 年 1 月 14 日から 3 月 24 日まで、フジテレビ系列で放送され

ていた連続テレビドラマである。ドラマのテーマは家族、ヒューマニズム；人間性で、全 11 話である。女性の登場人物は少女（10 代）、若女（20～30 代）、中年（50～60 代）に分けられる。このドラマは女性が発話する表現が多く提出する。女ことばを学習するための妥当な参考になると思う。

2. **『女たちのジハード』**とは、篠田節子に書かれた小説である。2000 年で第 2 刷発行。第 117 回直木賞受賞作。登場する人物は保険会社に勤める異なるタイプの 5 人の 20～40 代の女性である。家事、仕事、個性的の日本の女性、特に仕事をしている女性の生活を語っているテーマであるため、日本語における女ことばに関して学習に役に立つと思う。

3. **『ふたりはプリキュ』**とは、2008 年で、東堂いづみに書かれた漫画である。敵を追いかける力を持っている二人の中学生の女性の登場人物を語っている。学生としての日常生活にも書いてある。若者の女性が使用することば及び表現が多く提出する。この漫画を通して、若者ことば、特に女性の若年代が使用することばに関する学習ができる。

3） データの収集の技法

本研究のデータの収集は推察法（teknik simak）で行われている。つまり、「薔薇のない花屋・第 1 話～第 11 話」のドラマ、「女たちのジハード」の小説、「ふたりはぷりキュ」の漫画における女性が使用することばを精細に調べること。

「薔薇のない花屋・第 1 話～第 11 話」のドラマのデータの収集は基礎技法としての記録法（teknik sadap）で行われている。記録法は言語使用を記録する技法である（Sudaryanto, 1993：133）。その上、得られた口頭のデータは字訳のデータにする。これに対して、「女たちのジハード」の小説や「ふたりはぷりキュ」の漫画のデータの収集の技法は手記法（teknik catat）で行われている。

次のデータの収集の技法は推察・手記法（teknik simak-catat）で行われている。つまり、言語データとしての（1）ドラマ、小説、漫画における女性が使用する終助詞、（2）会話の話題、（3）ニュアンス、（4）場面、（5）会話の相手　を分類したり、手記したりすること。

本研究ではデータ収集を次の活動に分けて、行う。

a）準備

この準備は観察の最初の段階である。この準備段階は会話または場面を記しするための設備を準備するから始まる。設備ということは書簡用紙などのことである。

b）施行

本研究の施行は段階的に行う。つまり、最初の段階で記したデータは情報を追加のため、次の段階で繰り返す。施行の最初の段階は検査の段階という。すなわち、ドラマ、小説、漫画における女性登場人物の会話をデータ調査としての記しをする段階。次の段階は選択の段階である。この段階に特集の情報を得て、女性が使用されることばを調べるため、ドラマの録画を再生して、小説や漫画も再読する。

４）　研究の道具

本研究で使われて道具は主な道具としての研究者自身及びカードデータである。カードデータは女性が使用する会話のリストを設定し、構成する。

C. データの分析の技法

観察したデータ分析は質的で行う。実際に、調査の対象になる参考文献の分析をする。段階は次のようである。

1．上野が提出する理論による「かしら・の・もの・よ・わ」の女性専用の文末詞の意味・機能を分類する。

2．「かしら・の・もの・よ・わ」の女性専用の文末詞の意味・機能・文体による分類を調べる。

3．女性専用の文末しを使う各文と社会関係（話し手・聞き手・年齢差・場面）を分析する。

4．上野が提出する理論による「かしら・の・もの・よ・わ」の女性専用の文末詞の結論をする。

UNIVERSITAS PENDIDIKAN INDONESIA
PERPUSTAKAAN